



# 『季節の宅配便』

## 日進月歩、ドローンの世界！



新しい年を迎えました。2023年は、卯年！跳躍する年となりますように！  
 本年第1回目は、農場で、スマート農業推進のため、情報収集システムの構築を行っているドローン(無人航空機)の飛行上のルールをご紹介します。

現在農場が所有する最大重量のドローン①は350 gあり、サーモグラフィーが搭載されていることで、上空から被写体の表面温度をリアルタイムで測定することができます。農場では作物の表面温度を測定することで、生育調査をはじめとする栽培管理の効率化を図っています。



ドローン②の機体重量は199 gで、コンパクトで使いやすく、一般的に空撮で使用されます。  
 2022年6月20日の航空法改正前までは、200 g以下のドローンは、国の許認可不要で飛行できましたが、改正後は100 g以上の機体は機体登録と飛行申請&許可が必要になりました。

ドローン③の機体重量は80 gと小型のため、申請なしで自由に飛ばすことができます。軽量のため風の影響を受けやすく、農場では倉庫など、主に室内で活躍しています。



ドローンも自動車のように登録・管理が必要です。これもドローンが増え、安全に飛行するために大切なことです。日々、進歩が早く、次々に機能を持った最新型が登場しますが、ルールを守り、安全な飛行を心がけましょう！

**Make sure to fly safely!!**